

創刊号
2014.9発行

SEPTEMBER
2014

筑波大学グローバル教育院
エンパワメント情報学プログラム

NEWSLETTER

エンパワメント情報学プログラム始動－第1期生が入学しました－



▲ 4月 新入生オリエンテーション

2014年4月、計10人の新入生を迎え、エンパワメント情報学プログラムが始動しました。第1期生となる1年次生6名、3年次生4名が、各自の目標に向かって、新しい大学院生活をスタートさせました。

また、4月8日には、新入生オリエンテーションが行われ、新入生とプログラム担当教職員とが、初めて一同に会することになりました。プログラムリーダーである岩田洋夫教授から挨拶及びプログラム担当教員の紹介が行われ、その後、協調領域サブリーダーである稲垣敏之教授、拡張領域サブリーダーである加藤和彦教授、補完領域サブリーダーである山海嘉之教授より各領域の説明がありました。さらに、カリキュラム委員長である葛岡英明教授より本プログラム独自のカリキュラムの説明が行われ、新入生たちは熱心に聞き入っていました。

エンパワメント情報学プログラム (EMP) とは



プログラムリーダー 岩田 洋夫
システム情報系 教授

エンパワメント情報学プログラムは、博士課程教育リーディングプログラムとして、平成25年度に文部科学省により新規に採択されました。本プログラムでは、「人の機能を補完し、人とともに協調し、人の機能を拡張する情報学」として、新たに「エンパワメント情報学」を創設し、これからの人類社会にとって、安全性、利便性、心の豊かさの向上といった様々な観点から、人の生活の質を向上させる工学システムを創出できる人材の育成を目指しています。

第1期生たちは、4月に入学して以来、授業や研究に積極的に取り組んでいます。今夏には、国際インターンシップへの参加や、学会での発表等、それぞれが成果をあげました。本プログラムでは、来年度から本格化する、企業での実習に向けた準備も進行中です。関連する皆様に厚く感謝申し上げますとともに、引き続きご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



▲ Ars Electronica Centerにおける国際インターンシップ

第1回シンポジウムが開催されました

2014年3月10日、東京国際フォーラムにおいて、本プログラムの主催により「第1回エンパワーメント情報学シンポジウム」を開催しました。文部科学省、海外大学教員、国内外企業担当者、2014年度入学予定学生、一般参加者並びに本学教職員などの約70名が参加しました。本学副学長である大田友一プログラム責任者、文部科学省高等教育局大学振興課から猪股志野氏によるご挨拶の後、岩田洋夫プログラムリーダーの基調講演に続き、海外の大学教員4名による招待講演が行われました。

その後、「グローバル人材の育成に向けて—企業からの期待—」のテーマにて、本学からプログラム担当者である清水一彦副学長、山海嘉之教授・サイバニクス研究センター長、及び企業担当者である塚田正人氏（日本電気株式会社）、高野ルリ子氏（株式会社資生堂）によるパネルディスカッションが行われました。また、シンポジウムの終了後には、関係者による情報交換会を開催し、活発な意見交換が行われました。

なお、本シンポジウムに先立ち、海外協力教員・国内外企業担当者と本学担当者とのキックオフミーティングを行うなど、今後7年間実施するリーディングプログラムにおける教育研究活動の位置づけについて確認すると共に、国内外の担当者を交え今後の方向性を議論する上で有意義な機会となりました。



▲ 講演する英工ディンバラ大学Vijayakumar教授



▲ 海外協力教員とのキックオフミーティング

学生の活動 ACTIVITIES



第2回全国博士課程教育リーディングプログラム学生会議出席

2014年6月21～22日、熊本大学薬学部にて、第2回全国博士課程教育リーディングプログラム学生会議が開催されました。本プログラムからは1年次生の小木曾里樹さん、佐藤綱祐さん、高鳥光さん、利根忠幸さん、西田惇さんの5名が参加しました。

チーム シャンピニオン（1年次生 佐藤綱祐さん、高鳥光さん、西田惇さん）のIVRC2014予選大会1位

本プログラム1年次生の佐藤綱祐さん、高鳥光さん、西田惇さんで編成される、チーム シャンピニオンが、国際学生対抗バーチャルリアリティコンテスト (IVRC, International Collegiate Virtual Reality Contest) に参加しました。総応募件数118件の書類審査及びプレゼンテーション審査を勝ち抜き、2014年9月18日に行われた予選大会で、堂々の1位となり、決勝大会への出場が決定しました。



▲ 出展作品「チャイルドフード」

施設紹介

エンパワー寮



▲ エンパワー寮外観



▲ 設備の充実した寮のコモンルーム

エンパワーメント情報学プログラムでは、1、2年次生は原則全寮制です。学生が寝食を共にし、コラボレーションを促進します。特にプログラム履修生専用のコモンルームは、無線LAN、テレビ会議システムPolycomを完備しており、学生同士の切磋琢磨を促すような共有空間です。

エンパワー寮は、英国型の寮生活を規範としたコラボレーションの舞台と位置付けられており、海外コンテスト出展を目指す学生の活動の場となっています。また、TV会議システムを利用して学外担当者や産業界、海外大学等とフランクな意見交換を行う知的刺激の場でもあり、生活の場において装着型生体センサーや感覚ディスプレイの効果を評価する、実験フィールドでもあります。

ラボ紹介

人工知能研究室：鈴木健嗣准教授



本プログラムでは、「エンパワーメント情報学原論」等、ラボレーションをカリキュラムに取り入れています。今回は鈴木健嗣准教授（システム情報系・本プログラム事務局長）の人工知能研究室を紹介します。

誰でも使える察しの良いシステムを実現するため、身体による知覚と行動に関する生理学・認知神経科学、及び人間の

認知特性の理解を中心とした認知科学的アプローチの両方に基づき、人の「身体・知能・情動・意思」の理解に基づく人の支援や拡張を目標としています。

人間社会と密接に関係し、環境にシームレスに統合される未来のロボット・機械系を実現するため、系内に人が含まれる新たな認知ロボティクス(人支援ロボット、社会的ロボティクス、生体ロボティクス、人の知覚・行動の理解を含む)の研究を行っています。さらに、人の知能の理解を深化するため、人が必要なときに人に必要な支援を行う人支援技術、柔らかい素材を用いたソフト・ロボティクス、人の意思と人工物をシームレスに繋ぐインタフェースや、実世界における人々の社会行動の計測と情報提示を通じた、人と人との社会的インタラクションを理解するための研究を行います。エンパワーメント情報学における補完と拡張領域に関する研究分野ですが、特に、医学・芸術・心理・発達支援の分野と連携し、子どもから高齢者、健常者から身体・発達障がい者まで、人の意識・無意識と機械系を結ぶ次代の人工知能研究を推進します。

当ラボ所属の学生：利根忠幸（1年次生）、西田惇（1年次生）、潘雅冬（3年次生）

学生の声

VOICE

エンパワー寮の特徴は、やはりコモンルームです。学生同士で授業の課題に取り組む、自主的に行っているプロジェクトのミーティングを行う、時には先生方と懇親会を開催するなど、エンパワーの学生にとって非常に便利な施設です。単なる住居でなく、同じプログラムに通う仲間とお互いに切磋琢磨する貴重な場となっています。



1年次生
小木曾里樹

学生の声

VOICE

我が研究室は、一言で言うと、才気煥発な明るいところですよ。

研究室は人工知能の広い概念に基づき、イマジネーションを身につけて研究を行います。研究室の皆さんにとって、小さなアイデアでも大きな可能性が実現でき、違う知識でも必ず共通点が見つかります。まさに才気煥発です。

研究室の空間自身に、明るく開放的な感じがします。ここには、ヨーロッパ、南米、アジア、各国からの学生が集まっています。彼らは世界の話、文化、そして各自の知性を皆の研究生活に融合し、世界とつながる明るい道を開いています。



3年次生
潘雅冬

主な行事 (2014春～2014夏)

2014年3月10日	第1回エンパワーメント情報学プログラムシンポジウム・キックオフミーティング開催
2014年4月1日	2014年度新入生10名入学・編入
2014年4月8日	2014年度新入生向けオリエンテーション開催
2014年6月11日	筑波大学学群・学類生向け説明会開催
2014年7月1日	プログラム専任教員3名着任
2014年7月2日	博士課程教育リーディングプログラム委員現地視察
2014年7月4日	2015年度入学者向けプログラム説明会開催
2014年8月7日	身体性情報学シンポジウム開催 (身体性情報学研究会との共催)
2014年9月4～8日	Ars Electronica Festival 2014 (オーストリア・リンツ) において、Device Art International Exhibition 開催



▲ 6月 筑波大学学群・学類生向け説明会

当日は理工学群、情報学群、生命環境学群などに所属する学群生に加え、本プログラム3年次への編入学を考える博士前期課程の大学院生が参加しました。プログラムリーダーからの概要説明だけでなく、在籍中の学生から、本プログラムを受験した決め手や、博士課程へ進学するメリット、自身が希望しているキャリアパスなどの話もあり、これから受験を考える学生たちが真剣な様子で聞いていました。

お知らせ

[入試情報] 下記の日程で、2015年4月入学者を募集しております。要項等の詳細はウェブサイトをご覧ください。

種類	募集人員	募集要項公開	願書受付期間	試験日	合格発表日
一般入試 出願形式: WEB	6名 (1年次)	5月	9月22日 (月)	10月27日 (月)	11月17日 (月)
	若干名 (3年次)		9月29日 (月)	11月7日 (金)	
履修者特別選抜 出願形式: 紙媒体	6名 (1年次)	9月	11月17日 (月)	12月8日 (月)	12月19日 (金)
	6名 (3年次)		11月19日 (水)		

※上記日程以外に実施する場合は、随時ウェブサイトにてお知らせします。

詳しくはエンパワーメント情報学プログラム事務局 (info@emp.tsukuba.ac.jp) までお問い合わせください。

エンパワーメント情報学プログラム NEWSLETTER

創刊号 (2014.9発行)



国立大学法人 筑波大学 グローバル教育院
エンパワーメント情報学プログラム事務局

〒305-8573 茨城県つくば市天王台1-1-1

電話番号: 029-853-8740 Eメール: info@emp.tsukuba.ac.jp

ウェブサイト: www.emp.tsukuba.ac.jp